



子ザルのいちねん

福田幸広写真 小学館

春^{はる}に生ま^うれた赤^{あか}ちゃんザルは、いつもお母^{かあ}さんザルとい
つしよ。夏^{なつ}には、友^{とも}だちといっしよにあそびはじめ、秋^{あき}に
は、色^{いろ}づく森^{もり}のえだからえだへ、とびまわれるようになり
ます。そして、さむさがきびしい冬^{ふゆ}になると、みんなとお
んせんに入^{はい}ってあたたまるのです。みんな、とても気^きもち
よさそうな顔^{かお}をしています。

長野^{ながの}県^{けん}の地獄^{じごく}谷^{だに}にすんでいる二ホ
ンザルの暮^くらしを、たくさんの写^{しゃ}真^{しん}
で紹^{しょう}介^{かい}した本^{ほん}。四^し季^きの森^{もり}の美^{うつく}し^さ
とともに、サルたちの愛^{あい}らしい仕^し草^{くさ}
や生^いき生^いきとした表^{ひょう}情^{じょう}が楽^{たの}しめ^{ます}。

